
「2024年版中小企業白書・小規模企業白書について」 コメント

RIETI BBLウェビナー

2024年6月28日

RIETI / 成城大学社会イノベーション学部
後藤康雄

近年の内容の変遷

■その時々課題を抽出

■特に最近、アフターコロナ時代の中小企業の姿を模索

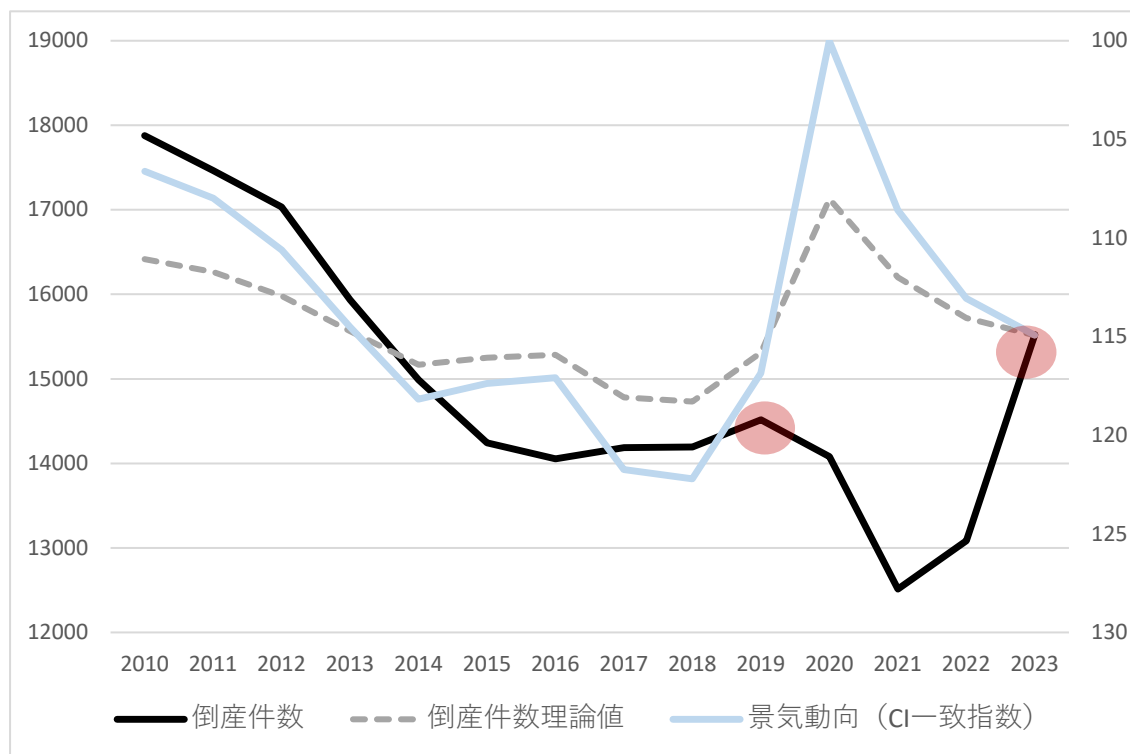
2022年度	2023年度	2024年度
第1部 中小企業の動向		
我が国経済の現状 中小企業・小規模事業者の現状 雇用の動向（感染症との関連で） 原油・原材料価格の高騰 事業継続計画（BCP）の取組 労働生産性と分配 経営資源の有効活用	中小企業・小規模事業者の動向 激変する外部環境と中小企業の取組 （感染症、カーボンニュートラル） 実態に関する構造分析 （価格転嫁、賃金、生産性等） 中小企業におけるイノベーション 地域内の企業立地	能登半島地震の被災地域の状況 新型コロナウイルス感染症の影響と対応 中小企業・小規模事業者の現状 直面する課題と今後の展望
第2部 構造編		
<u>新たな時代へ向けた自己変革力</u>	<u>変革の好機を捉えて成長を遂げる中小企業</u>	<u>環境変化に対応する中小企業</u>
中小企業における足下の感染症への対応 企業の成長を促す経営力と組織 共通基盤としての取引適正化と デジタル化、経営力再構築伴走支援	成長に向けた価値創出の実現 新たな担い手の創出 中小・小規模事業者の共通基盤 （取引適正化、デジタル化、支援等）	人への投資と省力化 中小企業を支える資金調達 中小企業の成長 中小企業・小規模事業者を支える支援機関

論点1：ゼロゼロ融資と倒産

■ゼロゼロ融資のリアルタイムの効果・・・資金繰りの改善と退出の抑制（Honda et al. 2023など）

■足元では**コロナ前の倒産水準に**

景気動向と倒産件数



注1: 倒産件数の単位は件、景気動向指数は2020=100
注2: 倒産件数は暦年中の総数、景気動向指数は月次の平均
注3: 倒産件数はトレンド除去ベース
注4: 倒産件数理論値の試算には、倒産件数を景気動向指数CI一致指数で回帰分析した結果を用いた

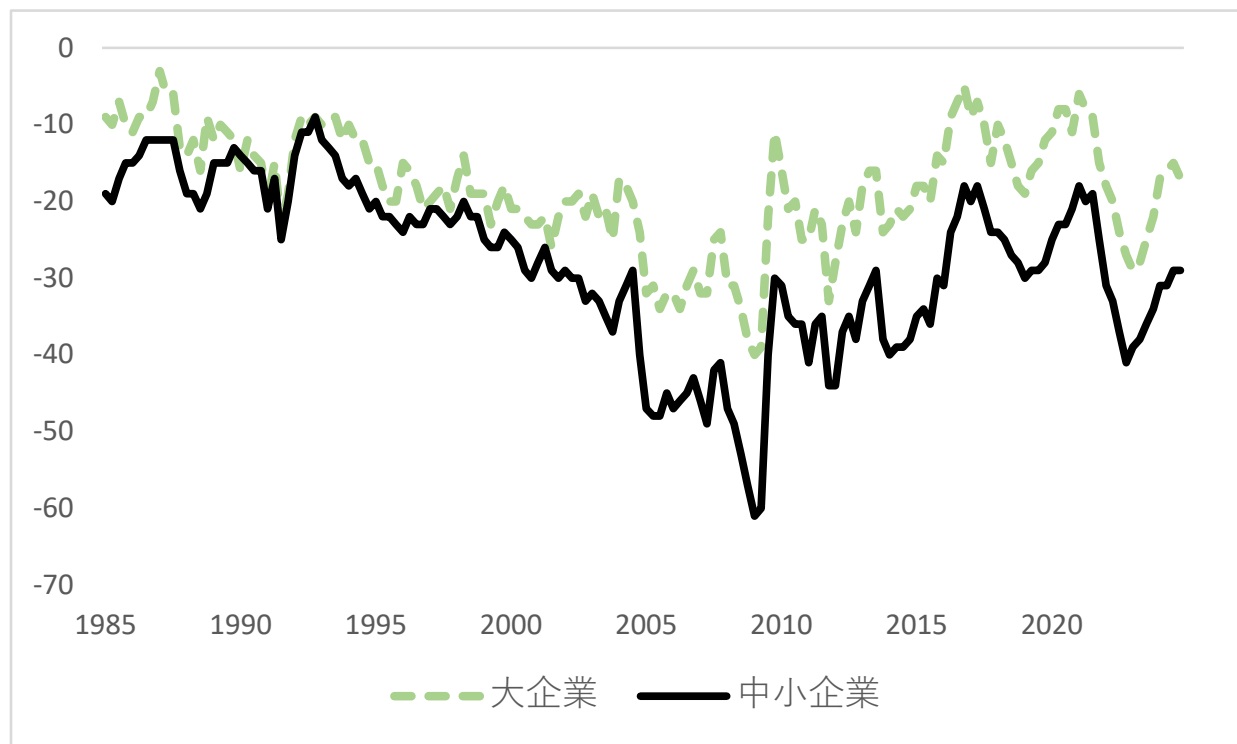
出所: 内閣府「景気動向指数」、東京商工リサーチ「全国企業倒産件数」に基づき後藤作成

論点2: “価格”をめぐる状況

■長らく中小企業は価格転嫁が出来ていない可能性

- 賃上げ原資確保の困難化
- 生産性の議論にも影響する可能性

「販売価格DI-仕入価格DI」の推移



注: 日銀短観の「販売価格判断DI」から「仕入れ価格DI」を差し引きした値として計算

出所: 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」より
後藤作成

仮想事例：価格と生産性の計測

■全体を集計したマクロの物価を用いると生産性を見誤る可能性

ケース1：中小企業と大企業の価格変化が同じ

	実質付加価値（数量）		価格		名目付加価値	
	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
中小企業	100	100	100	100	10000	10000
大企業	100	100	100	100	10000	10000
合計	200	200	100	100	20000	20000

ケース2：中小企業は値下げ、大企業は値上げ

	実質付加価値（数量）		価格		名目付加価値	
	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
中小企業	100	100	100	80	10000	8000
大企業	100	100	100	120	10000	12000
合計	200	200	100	100	20000	20000

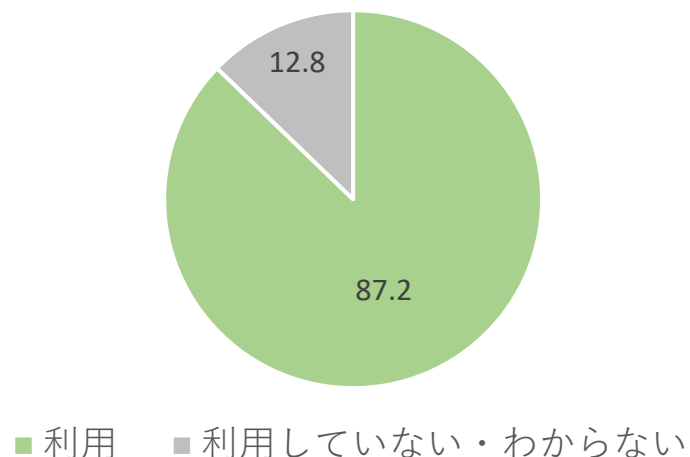
マクロ物価を使うと中小企業
の生産性が低下したように見える

論点3：支援機関

■高い潜在力を持つ可能性

■支援機関の顔触れと役割の視点も重要

支援機関の利用状況



出所:「中小企業白書2024年版」より作成

本調査における支援機関

	調査対象数
商工会・商工会議所	1,133
よろず支援拠点	47
税・法務関係士業	250
中小企業診断士	214
金融機関	332
その他	102

出所:「中小企業白書2024年版」より作成

今後の論点

- **コロナ下における緊急的な支援策の影響（EBPMの観点）**
- **生産性計測の精緻化**
- **支援機関（金融機関を含む）の役割のさらなる検討**
- **成長促進に資する施策（投資のあり方等々）**
- **etc.・・・**
 - **例：金融政策と中小企業（賃上げ／金利上昇による利払い負担上昇）**